

自動車アセスメントロードマップ 2018 の主な変更点
(赤字部分)

新規試験項目の追加

【予防安全性能評価】

・被害軽減ブレーキ

事故実態を踏まえ、被害軽減ブレーキ試験における対象物の追加を検討。

対自転車については、2018 年度から調査・研究、試験・評価方法を策定後、2021 年度から評価開始予定。

交差点については、2020 年度から調査・研究、試験・評価方法を策定後、2023 年度から評価開始予定。

【衝突安全性能評価】

・前面 (MPDB : Mobile Progressive Deformable Barrier)

対車両の衝突事故に対応した新たな評価試験方法として、追加を検討。また、より生態忠実度の高いダミー (THOR ダミー) の導入についても検討を行う。2020 年度から調査・研究を開始し、2023 年度評価開始を目指す。併せて、これらの調査・研究結果を踏まえて、前面衝突の試験・評価方法の再検討を行う。

既決事項の追記

【予防安全性能評価】

- ・ペダル踏み間違い時加速抑制装置について、2020 年度に試験・評価方法の再検討を行う。
- ・予防安全性能評価全体の総合的な安全性能について、2018 年度に 3 段階評価 (ASV+++) に変更。

【衝突安全性能評価】

・前面 (フルラップ) 試験及び前面 (オフセット) 試験

2020 年度に高齢者を考慮した閾値等への変更 (フルラップ : 助手席、オフセット : 後席) を行う。

【事故自動通報装置】

- ・2019 年度に法規対応の試験・評価方法への再検討を行う。

【チャイルドシート安全性能評価】

- ・前面衝突時安全性能試験において、2018 年度から腹部圧力評価を適切に行うために、3 才児ダミーを変更した。

新規に対応内容を追加した項目

【衝突安全性能評価】

・後面頸部保護及び助手席・後席シートベルトリマインダ

基準動向を踏まえ、2019 年度に試験・評価方法の再検討を行う。